

第51号12月は田中が担当します。2019年も残すところ僅かになりました。

貴社（の皆様）におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。



画像＝さざれ石、京都 下鴨神社

### <君が代の意味>

令和にかわり、わたしも日本の国の生い立ちに興味をもち、気になったことを一部書きます。学校ではきちんと歴史を教えてもらわず、戦前の国家の賛美歌と思っていたのですが、誤解していました。「君が代」という言葉が初めて文字として出てきたのは、平安時代初期の延喜5年（905年）です。法律では平成11年にやっと国家と定められました。悪い象徴ではない歌詞となっています。『千代に八千代にさざれ石の巖（いわお）となりて苔（こけ）のむすまで』の訳は、男性と女性が共に支えているこの世は千年も幾千年もの間、小さな砂がさざれ石のようにやがて大きな盤石となって苔が生じるほど長い間栄えていきますように、という意味になります。また一部諸説によれば「天皇の治世」を奉祝する歌であり、君という言葉は、天皇陛下のことを表すとありますが、そう言った意味でもないようです。元々、漢字の「君」は、「口」へんと「尹（イン）」を組み合わせた文字です。「尹（イン）」は、「手」に「丨」（つえ）を持っている姿で、「尹」は「聖職者」を表します。その聖職者が口を開けて、何かを説いている姿が「口」+「尹」です。つまり「君」という字は、「尊敬の意味を含んだ高貴な人」をあらわす文字なのです。だからこそ源氏物語では「朝顔の君」や、「藤袴の君」など、美しい女性たちに「君」の尊称をつけています。もし「君」が天皇をあらわすというのなら、源氏物語の女性たちは全員、天皇ということになってしまいます。「君が代」に込められた意味は「子孫繁栄を願う」なのではないでしょうか？諸説ありますが、皆さんも興味がありましたら、調べて見て下さい。



画像＝経済産業省の予算案PR資料PDFから

### <ものづくり助成金 令和元年の補正予算案閣議決定>

日本金型工業会からインサイダーメールの記事情報です。

令和元年度経済産業省関連の補正予算案が閣議決定し、その関係資料が公表されました。生産設備におけるエネルギー使用合理化等事業者支援事業費補助金、いわゆる省エネ補助金では、射出成形機・マシニングセンタ・レーザー加工機は単体で設備対象ではなかったのですが、今回の新制度からは対象になるようです。この補助金は、ものづくり補助金の2/3補助率に比べて補助率は「1/3以内」と低いですが申請は比較的簡易のようですし、新しい補助制度なので競争率も低いかもしれません。

URLでも確認出来ます。[https://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan\\_fy2019/hosei/index.html](https://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan_fy2019/hosei/index.html)

当社の年末年始の休業期間は下記の通りです。

〔年末年始休業期間〕2019年12月28日（土）～2020年1月6日（月）

株式会社 IS DESIGN アイエス通信編集部 発行日 2019年12月27日 発行人 池田英樹

〒581-0816 大阪府八尾市佐堂町2丁目3-15 久宝ビル301 TEL:072-929-1336 FAX:072-929-1338

Email:h.ikeda@is-design.net URL: http://www.is-design.net

Copyright (c) 2014 株式会社 IS DESIGN all rights reserved